日本建設機械化協会
J.C.M.A.

No. 149　　1962年7月号

目　次

建設機械の発達と海外進出……西松三好…1
わが国建設業の海外工事
Ⅰ．南ベトナム・ダニムダム水力発電所建設工事について……藤原儀平…2
1．水路および発電所工事……藤原儀平…4
2．ダニム・アースダム工事について……森本　一…6
Ⅱ．ネヤマ排水トンネル工事……森本　一…9
Ⅲ．タイ国の3橋りょう……根岸寛三…11
Ⅳ．メキシカリ市上水道施設工事について……丹部正重…13
建設機械の現状（その7）
Ⅸ．コンクリート機械［その1］……余語映吉…16
〃　［その2］……五藤節夫…22
Ⅹ．空気機械の現状-X-1．ポータブルコンプレッサ……星野仁雄…27
X-2．定置式コンプレッサ……岡村武雄…32
昭和36年度官公庁，業界で採用した新機械（その2）
Ⅲ．運輸省で採用した新機械について……両角常美…35
Ⅳ．国鉄で採用した新機械について……石川正夫…41
Ⅴ．建設業が採用した新機械について……斎藤二郎…44
「部会報告」
ブルドーザ用コロガリ軸受およびオイルシールの調査報告（その1）……技術部会機素研究委員会…47
回転と打撃を別操作できるPR型さく岩機と鶴田ダム長孔せん孔作業について……杉山徳次郎…53
「文献調査」
コンクリートパイプを現場打ちすると非常に時間と工費の節減になる……施工部会文献調査委員会…59
「支部便り」
北海道支部設立10周年を記念して……北海道支部…61
ニューズ……（編集部）…63
行事一覧・編集後記……（伊藤・柴田）…64

◇表紙写真説明◇

株式会社　神戸製鋼所製

P＆H 1400 電気ショベル

本機は米国ハーニッシフィーガ社との技術提携による大型電気ショベルで，主要要目は次の通りである。

1．ディッパ容量　3.1～3.8 m³（標準は 3.4 m³）
2．主要電動機　主巻上用　A.C. 190 kW
旋回用　D.C. 30 kW
クラウド用　D.C. 30 kW
走行用　D.C. 45 kW
3．制御方式　サイラトロン（ガス入り整流管）使用による電子エネルギ制御で，特に主巻上用にマグネトルク（渦流式電磁誘導クラッチ）を使用しA.C.電動機より直接駆動している。
4．作業時重量　約 150 t
5．走行速度　1.35 km/h
6．ブーム，ディッパハンドルおよび主要フレームは T-1 鋼およびハイテン鋼材使用の全溶接構造である。